

不知火・清見（かいよう病に強い品種）（成木）

【令和6年1月1日現在の農薬登録内容】2024版

※ 太枠は重要防除です。

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
4月上旬	ミカンハダニ		アタックオイル 100倍又は ハーベストオイル 100倍又は スプレーオイル 100倍
	注) ICボルドーとの近接散布は行わない。 注) カイガラムシ類を多く見かけた場合は アプロード水和剤1000倍をマシン油に加用し散布する。		
5月上旬 ～ 5月中旬	灰色かび病		フロンサイドSC 2000倍又は ストロビードライフロアブル 3000倍
	コアオハナムグリ ケシキスイ類	劇	モスピラン顆粒水溶剤 4000倍
注) 灰色かび病防除は満開から落弁期にかけて散布する(多発園は2回)。 訪花害虫多発園では2回以上散布する(3分咲きと満開時期)。 フロンサイドSCはかぶれに注意する。			
6月中旬 ～ 6月下旬	黒点病		ジマンダイセン水和剤 600倍
	ミカンハダニ		アタックオイル 150倍又は ハーベストオイル 150倍又は スプレーオイル 150倍
	ミカンサビダニ	劇	ハチハチフロアブル 2000倍又は
	アザミウマ類	劇	コテツフロアブル 6000倍
注) すず病はアブラムシ・コナジラミ・カイガラムシ類の排泄物に繁殖したカビが原因であり、害虫の防除が重要である。 黒点病は降雨量が多いと多発する。散布後250mm以上の降雨があった時は再度散布。 カイガラムシ類を多く見かけた場合はアプロードエースフロアブル1000倍を6月上旬に散布する。 アプロードエースフロアブルはミカンサビダニにも効果有り。 注) ミカンナガタマムシ・ゴマダラカミキリ成虫の発生園では、エクシレルSE 5000倍を散布する。			
7月上旬 ～ 8月中旬	黒点病		ペンコゼブ水和剤 600倍又は ジマンダイセン水和剤 600倍
	ミカンハダニ ミカンサビダニ アザミウマ類	劇	メビウスフロアブル 3000倍
注) カイガラムシ類を多く見かけた場合はコルト顆粒水和剤 3000倍を散布する。			
8月下旬 ～ 9月上旬	黒点病		ペンコゼブ水和剤 600倍又は ジマンダイセン水和剤 600倍
	ミカンハダニ ミカンサビダニ		ダブルフェースフロアブル 3000倍 ダニゲッターフロアブル 2000倍
	ヤノネカイガラムシ チャノキイロアザミウマ		スタークル顆粒水溶剤 2000倍
10月下旬 ～ 11月上旬	ハダニ類		オマイト水和剤 750倍
注) 不知火の水腐れ軽減：着色終期(果頂部まで着色が進んでから)ジベレリン(0.5～1.0ppm)を果実に散布する (希釈方法は説明書に従う)。ジベレリンは清見で水腐れ軽減の登録はない。			
11月中旬	貯蔵病害 (青かび病、緑かび病、軸腐病)	劇	ベフトップジンフロアブル 1500倍又は トップジンM水和剤 2000倍
	注) 果実を袋かけする場合は、袋がけする前に散布を行う。		

散布量は500～600g/10aを目安にタツリ散布する。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」